

【別冊】

総務教育常任委員会資料

(平成31年1月21日)

【項目】	ページ
1 平成30年度第3回鳥取県総合教育会議の開催結果について 【とっとり元気戦略課】・・・1	
4 「若者交流会 in TOKYO～たっぷり とっとり 楽しまナイト2～」の開催結果 について 【とっとり暮らし支援課】・・・2	

元気づくり総本部



平成30年度第3回鳥取県総合教育会議の開催結果について

平成31年1月21日
とっとり元気戦略課
教育総務課

本年度3回目の鳥取県総合教育会議を開催しましたので、その結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日時 平成31年1月18日(金) 午後2時から3時50分まで
(2) 場所 鳥取県庁 議会棟3階 特別会議室

2 出席者

知事、教育委員会(教育長、教育委員)、有識者委員

3 概要

(1) 意見交換

以下のア～ウのテーマについて、教育委員会等の説明後に意見交換を行った。

ア 鳥取県の「教育に関する大綱」の改訂素案について 資料1～資料1-2

『「ふるさと鳥取」を支える「人財」の育成』、『時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実』を新たに柱立てした本県の教育大綱の改訂素案を示し、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・ふるさと教育を大綱で柱立てしたことは評価できる。若い経営者などが地域課題解決のため様々な取組を行っているが、地元企業や地域と学校を結びつける仕組みづくりを進めてほしい。
- ・学力向上対策とキャリア教育は、個々の児童生徒に応じ、一体的に取り組んでほしい。
- ・地域探究型学習などの土曜授業等の取組については、各学校で取り組むだけでなく、学校合同あるいは校種を超えて行うことも検討してほしい。
- ・不登校児童生徒等の学びの場の確保は重要であり、改訂素案に盛り込まれている。県教育委員会が作成した「教育相談体制充実のための手引き」等を活用し、学校現場でうまく機能できるようにしてほしい。
- ・不登校対策や特別支援教育において、デジタル化教材の導入など、ICT機器の活用を力を入れて取り組んでほしい。
- ・不登校児童生徒の学びの場を確保する取組を進めてほしい。

イ 子どもたちの学びの場づくり(不登校対策)について 資料2

増加を続ける不登校児童生徒に対する新たな対応策等について意見交換を行った。

<主な意見>

- ・不登校やひきこもり等により学びの機会を失っている児童生徒に対して、ICTなどを積極的に活用して、在宅学習を支援してほしい。

ウ 県立美術館整備の取組状況について 資料3

公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会の開催等について説明した。

<主な意見>

- ・外国人観光客の拡大につながることも期待したい。

(2) 知事総括

- ・教育大綱の改訂素案については、基本的には了解いただけた。修正意見があったものについては、今後、県教育委員会とも相談して反映させていきたい。
- ・ふるさと教育は、若者の地元定着だけではなく、県外へ転出しても、様々な形でふるさと鳥取を応援する人財の育成といった視点でも取り組んでいきたい。
- ・不登校対策については、県教育委員会が「教育相談体制充実のための手引き」を作成したが、学校現場に即した内容になっている。今後、学校や市町村教育委員会が主体的に不登校対策の取組を進めていただきたい。

4 今後の予定

教育大綱について、今回の会議での意見や2月議会での議論を踏まえ、教育委員会とも調整のうえ、次回の総合教育会議(本年6月開催予定)で最終案を提示し、改訂を行う予定である。

「若者交流会 in TOKYO～たっぷり とっとり 楽しまナイト2～」の開催結果について

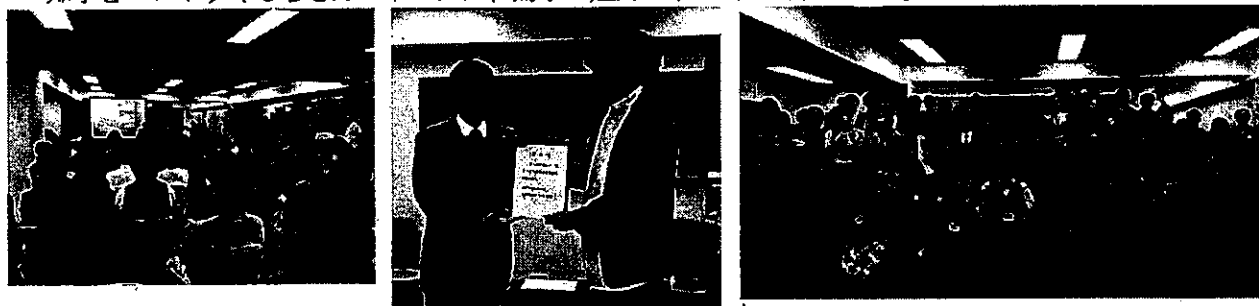
平成31年1月21日
とっとり暮らし支援課

産学官金労言で構成する「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議（会長：藤縄匡伸鳥取県商工会議所連合会会長）の主催で、首都圏在住の若者に、今の鳥取の魅力を伝える首都圏イベント「若者交流会」を次のとおり開催しました。

- 1 開催日 平成31年1月19日(土) 午後6時から8時30分まで
- 2 場所 LEAGUE 有楽町（東京都千代田区有楽町・東京交通会館6階）
- 3 参加者数 71名 都市側：鳥取や地方に関心がある人、鳥取の人脈を作りたい人、鳥取ファン、IJUターン希望者、鳥取出身者などで40歳以下の若者 43名
鳥取側：県民会議参加機関の若手職員、市町村担当者、プレゼンター等 28名
- 4 内容
 - ・鳥取県ゆかりの吉本芸人マンボウやしろ氏と平井知事の鳥取の魅力を語るクロストーク（マンボウやしろ氏へ「とっとりふるさと大使」委嘱状交付）
 - ・鳥取県で若者が主体となって地域を盛り上げる活動を紹介（トリコンバリュー、隼Lab.）
 - ・日本唯一の砂を固める技術を紹介（体験ワークショップ・榊モルタルマジック）
 - ・ご当地食を楽しみながら意見交換・懇親会 等

5 参加者の声

- ・今年の夏に県交流事業で鳥取に行った。温かい人たちと触れ合っただけで鳥取がとても気に入ったので、前回の交流会にも参加して、今回は友人も誘って参加した。来週、休みが取れたので個人的に鳥取に遊びに行く予定である。
- ・隼Lab.の話聞いて、鳥取でこんなすごい取組をやっていること知らなかったのが、驚いた。自分も頑張ろうと思った。
- ・2年前に県の地域課題解決プログラムに参加して、鳥取と関わりを持った。その後は関係を持っていなかったが、また鳥取と関わって行きたいと思い、この会に参加した。
- ・県内大学を卒業し、東京で就職して4年経つが、そろそろ帰りたいと思っている。SNSでこの会の情報を見つけて一人で参加したが、鳥取でお世話になった人が鳥取側の参加者について、会って話ができ嬉しかった。
- ・鳥取出身で、いつかは鳥取に帰りたいと思っているので、鳥取と繋がっていられるこういう会は続けていって欲しい。
- ・知事とマンボウやしろさんのトークは、鳥取の魅力がすごくよく伝わった。



【参考】今後の主な都市圏での移住促進イベント

2/1(金) ～2/3(日)	とうきょうの真ん中で“地方暮らし・子育て”を考える～とっりの場合～（東京） ※首都圏において、共生先進県・鳥取をテーマに演劇、トークや展示等を行い、とっとり暮らしのPRを実施。
2/3(日)	地域の魅力発信！移住・交流フェア（東京）
2/17(日)	第4回いいね！地方の暮らしフェア（東京）
2/23(土)	地方創生プロジェクト移住・交流フェア（東京）
2/23(土)	若者交流会 in KANSAI（大阪）

※個別（休日・ナイター）相談会：[東京]：1/26、2/6、24、[大阪] 1/23、2/6、9、13、27